

茨城県立竹園高等学校

〒305-0032 茨城県つくば市竹園3-9-1 ☎029-851-7515

活動団体 SDGsサークル 活動人数 22人 主な活動時間 休み時間や放課後

SDGsカルタ

きっかけ

「Every person is different, so respect each other.
(お互いの考えを尊重しよう)」

「Mt.Tsukuba-beautiful nature and deep history.
(筑波山には美しい自然と深い歴史がある)」

SDGsの17の目標を26文字のアルファベットで始まるカルタにした、「SDGsカルタ(英語版)」を作り上げたのが竹園高校に通う高校生だ。中心メンバーが1年生だった2020年、JICA筑波主催のプログラムに参加した



SDGsカルタを持つ生徒たち。

のをきっかけに、10カ月がかりで完成させた。SDGsについて学んだ成果を生かすとともに、小学校での英語の学習にも役立ててもらえるようさまざまな工夫が盛り込まれている。

活動内容

カルタの読み札は英文で、短い文章で17の目標を分かりやすく解説している。放課後に意見を出し合いながら、英文は英語部員やネイティブ教員のアドバイスを受けながら完成させた。

絵札も一つひとつ、生徒が描いた作品だ。それぞれにタッチが違うのが面白さで、平等がキーワードの絵札では、カラフルな色使いで多様性を表現。まちや自然の豊かさに関わる絵札では、筑波山や霞ヶ浦など、地元の風景や文化遺産が登場し、地域の宝を後世に伝えていくことも意識している。



地元の小学生とSDGsカルタを行っている様子。

完成したカルタは小学校に寄贈したほか、高校の授業や文化祭、地域のイベントでもSDGsカルタの体験会を実施。さまざまな場所で、楽しみながらSDGsを伝えている。

成果

寄贈した地元の小学校で、SDGsカルタは、継続的に学習に役立てられている。

SDGsカルタ体験会では、生徒たちにとってうれしい感想が多く寄せられる。「遊びながら学べ、達成感があった」「絵がすてきだった」という全体の高評価や、「よく分かっていなかったSDGsについて、具体的にイメージでき、初めて理解できた」「SDGsと地域のことを関連付けて知れて、勉強になった」という、生徒たちの工夫が成果に結びついたコメントも少なくない。

活動エピソード

小学生とSDGsカルタを体験するイベントでは、小学生がそれぞれ好きなゴールを見つけるなど、すてきな表情で説明を聞いてもらうことができ、とすると難しく捉えられがちなSDGsという言葉に親しみを持ってもらうことができた。

今後の展望

今後もSDGsについて少しでも興味を持ってもらうきっかけとして、SDGsカルタを活用していきたい。SDGsをはじめ、さまざまな社会課題を知る、学ぶ機会を提供することで、小さな変化があちこちに起こり、未来が変わることを願っている。